

第1回 返却編

迸る躍動感、

時に愛を添えて、

返却はパッションナイトに。

閉館間際の劇空間『クロスプレー』ヘッドスライディングの際は、本を傷めないよう、手を浮かせるなどの配慮を。入館からカウンターまでのタイムを競いあう『筋肉番付』も有名。



文・イラスト/カジ

華麗なる図書館利用者のための

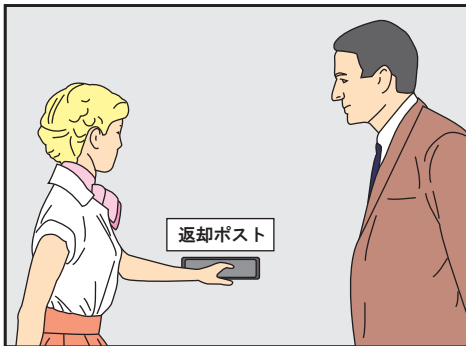
Cool Librarian

クールリブラー講座

『クールリブラー』とは

図書館の利用マナーの遵守はもちろん、よりクールで上質なリブラ利用方法を日々模索する。それが『クールリブラー』だ。どちらかといえば、醤油味を好む。

普段は地味な返却ポストをラウスポットに変えさせる『ローマの休日』たとえ返却する本がなくても、ポストに手を入れるだけで気分は十分味わえる。クラシカルな装いでさらなるナリキリを。



借りた本を期限内に返却する。図書館利用者であれば当然のマナーだ。しかし、よりクールなりぶら利用者、すなわち『クールリブラー』を目指すのであれば、その方法にも趣向を凝らしたい。まずは『メロス』友人たちの借りている本を一手に預かり、りぶらへ向かう。たとえ自宅から距離があろうとも、自転車などは使用せず、ただひたすら全力疾走。途中訪れる、やきいもの香ばしいにおいや再放送アニメ等の誘惑に負けぬよう、強い心で走り続ける。親愛なる友のために。

閉館間際の返却は『クロスプレー』

9回裏、一打サヨナラの場面、ランナーは本を片手に3塁を蹴る。ホームベース(返却カウンター)上でバークードリダーを持ち待ち構えるキャッチャー(係の人だ)。際どいタイミング、そしてヘッドスライディング! さあ、判定は? ロマンティックな恋愛を夢見る女性には『ローマの休日』返却ポストを例の口に見立て、あの名シーンを再現。ありきたりの日常から解放された王女を、余すことなく演じぬけ。